

「大西キッズ」が「デジタルマップ特別賞」を受賞

～第19回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式を山口県宇部市で開催～

日本損害保険協会山口損保会（会長：仁平 直・損害保険ジャパン株式会社 山口支店長）は、2月21日（火）宇部市常盤ふれあいセンターにおいて、第19回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」で「デジタルマップ特別賞」を受賞した「大西キッズ」（山口県宇部市）に対して、表彰式を開催しました。

「ぼうさい探検隊」とは、子どもたちがまちを探検しながら、まちにある防災、防犯、交通安全に関係のある施設や設備を発見し、マップにまとめる実践的安全教育プログラムです。当協会では、内閣府、文部科学省、警察庁、消防庁、気象庁など行政機関や団体の後援を受け、2004年から毎年マップコンクールを開催し作成したマップを表彰しています。第19回となる今回のコンクールでは、全国の小学校、子ども会、児童館、少年消防クラブなど410団体から6,137人が参加し、1,179作品が寄せられ、そのうち22作品が入賞しました。

「大西キッズ」（3年生1人、5年生1人）は、地域にある防災設備の役割や使い方、危険な場所では具体的にどのような危険があるのか、子どもたちの視点で分かりやすく伝えている点、特に消火栓に着目して災害時の状況を想定しながら探検できていることなどから「デジタルマップ特別賞」（日本損害保険協会が無償で貸し出している「まち探検アプリ」搭載のタブレット端末を、児童が使って探検・マップづくりをした作品のなかから、審査によって選出した賞）を受賞しました。

表彰式では、仁平会長から、「おめでとうございます。マップづくりを通して学んだこと、発見したことは、家族、友達や地域の方々に、ぜひ、みなさんの言葉で伝えてみてください。みなさんの言葉がきっかけとなり、防災の意識が改善されることで、地域の防災力が向上することを願っています。」とのお祝いのことばが伝えられた後、受賞した児童2人に表彰状および副賞が贈呈されました。受賞した児童からは「危険だと思っていた場所が安全だったり、安全だと思っていた場所が危険だったり、いろんな気づきがあった」「災害について、調べていきたいな」といった感想がありました。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携し、各種防災教育の普及啓発に取り組んでまいります。



保護者（左）・受賞児童（中央）・仁平会長（右）



仁平会長から賞状授与



仁平会長からお祝いの言葉



受賞児童からマップのポイントを説明